

物理学会領域 2 運営会議報告

領域 2 代表
大阪大学 大学院工学研究科
電気電子情報工学専攻
田中和夫

平成21年9月26日(土)
於 熊本大学

領域2 役員 (-2009. 9. 30)

○ 田中和夫	代表	阪大	
○ 居田克巳	副代表	核融合研	若手賞
○ 石原修	前代表	横浜国立大	
○ 草野完也	役員	海洋研究開発機構	シンポ・3学会
○ 比村治彦	役員	京都工芸繊維大	広報
○ 渡邊智彦	役員	核融合研	大会
○ 石井康友	役員	日本原子力機構	大会
○ 吉村信次	役員	核融合研	広報
○ 樋田美栄子	役員	名大	大会
○ 古川勝 連合	役員	東大	大会・プラズマ
○ 利根川昭	役員	東海大	広報
○ 河村徹	役員	東工大	大会

新役員(10.1.2009-)

- | | | |
|--------|-----|-----------|
| ◎ 菊池満 | 副代表 | 原子力研究開発機構 |
| ◎ 荒巻光利 | 役員 | 名大 |
| ◎ 井 通暁 | 役員 | 東大 |
| ◎ 重森啓介 | 役員 | 阪大 |

役員体制2009、10月から

- =====
- 大会（プログラム編集・会場設定）
- 河村（正）、利根川(副)、樋田、石井
- シンポジウム・招待講演・企画講演（3学会世話人を兼ねる）
- 古川)
- 3学会合同世話人 樋田、古川 居田
- ビームとの合同セッション担当 利根川、
-
- 表彰・若手賞 副代表「菊池」
- 会計・予算 代表 居田」
- 学会連携（2年間） 田中、古川
- 来年度→菊池、重森
- 広報（ホームページ） 吉村（正）
- 編集（JPSJ） 田中
- 役員会・運営委員会幹事（書記） 古川
- 新役員担当は、調整中
- =====

平成21年9月24日 選考委員会開催

委員長:米田仁紀 電通大学 レーザー新世代研究センター

副委員長:居田克巳 核融合科学研究所

委員:市村真 筑波大学 プラズマ研究センター

委員:草野完也 名古屋大学 太陽地球環境研究所

委員:永田正義 兵庫県立大学 工学部

委員:根本孝七 電力中央研究所

応募者4名の中から以下の2名を推薦する事とした。

藤岡慎介 (大阪大学 レーザーエネルギー学研究中心)

レーザー生成高輝度X線を用いた産業利用から宇宙物理に亘る研究

対象論文 Nature Physics (2009)

Applied Physics Letters, 92 (2008) 231502

Physical Review Letters, 95 (2005) 235004

糟谷直宏 (核融合科学研究所)

磁化プラズマにおける乱流輸送の2次元構造

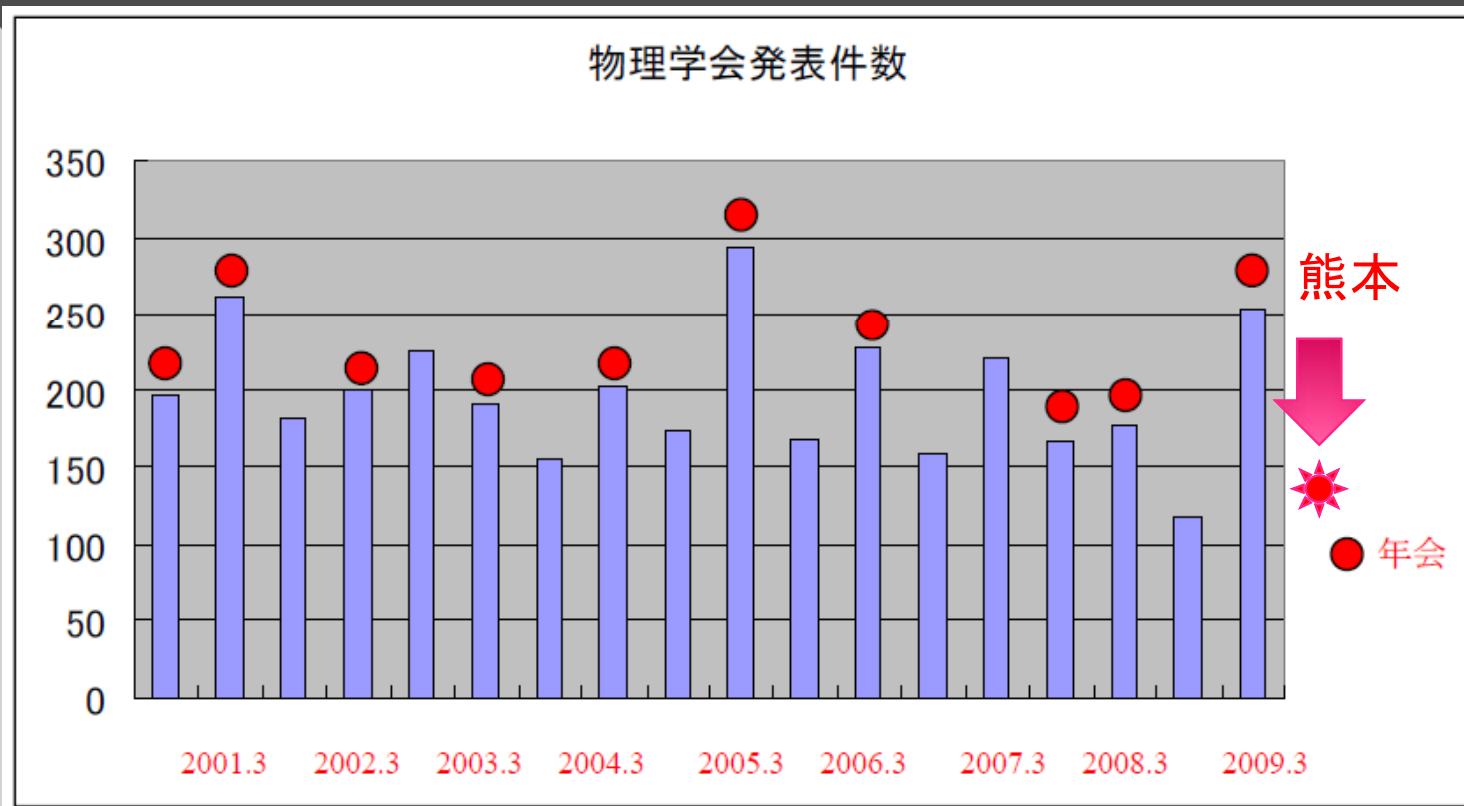
対象論文 Physical Review Letters, 94 (2005) 195002

Nuclear Fusion, 48 (2008) 035003

Physics of Plasmas, 15 (2008) 052302

領域2の規模

◎ 年会・秋季大会での領域2発表数の推移



◎ 領域2内での各分野の一般講演件数(他にシンポジウム等あり)

	第63回年会(2008年3月)	秋季大会(2008年9月)	第64回年会(2009年3月)
> プラズマ基礎	54	29	15
> プラズマ科学	17	29	18
> 核融合プラズマ	95	51	88
> プラズマ宇宙物理	5	10	156

(3学会合同)

領域2の規模(続)

- ◎ 年会, 秋季大会ともに, 一般講演の他, 平均的に
 - チュートリアル講演 2件(1時間講演)
 - シンポジウム 2件(30分講演が6件程度のものが多い)
 - 招待講演 2件(45分講演)
- ◎ を行っている
- ◎ 領域2から毎年3名以内で若手奨励賞が選ばれ, 年会で記念講演(30分)が行われる
- ◎ シンポジウムは, 他の領域との合同開催もある
- ◎ ビーム物理領域とは, 年会で合同セッションを行っている
- ◎ 日本地球惑星科学連合, 日本天文学会とは幹事持ち回りで合同セッションを開催している(物理学会担当は2005年3月, 2009年3月)
 - 合同セッションでは, 会員でない登壇者の参加費を会員並にする等の便宜を図っている

領域2の活動資金

- 領域2自体は活動資金をもっていない
- 自然科学研究機構・連携事業「分野間連携による学際的・国際的研究拠点形成」に応募し(代表者: 領域2前代表 石原修), 今年度は旅費を確保した
- 参考: 物理学会その他領域では, 分野ないで独自に会費を積み立て, 合同分科会やシンポジウム等を開催している
 - 例: 核物理領域: アメリカ物理学会と合同, 4年に一度, ハワイにて
 - 参加費は, 早期登録で\$300(学生\$125), 少し遅いと+\$50, オンサイトで+\$100.
 - 日本物理学会の通常の年会・秋季大会では, 参加登録費は事前5000円(学生2500円), 現地6000円(学生3000円)

領域2の役員

- 公式には,
 - 領域代表1名： 任期1年, 11月始まり
 - 世話人6名： 任期1年, 3名は4月始まり, 3名は10月始まり
- 領域2では, 継続性確保による効率的運営のため, 内規を設け, 以下で運用している
 - 領域前代表1名, 代表1名, 副代表1名： それぞれ任期1年, 10月始まり
 - ・ つまり領域2役員としての任期は計3年
 - 役員(世話人)9名： 任期3年, 10月始まり, 各年3名ずつ交代
- プラズマ関連学協会連合組織の担当役員としては,
 - 前代表, 代表, 副代表から1名
 - 役員から1名
 - それぞれ, 2年継続
を選ぶこととした.
 - 役員任期が3年なので, 当連合組織の担当2年の間に, 次の担当と任期が重なり, 引き継ぎが効率的となる

連携のメリット

- ◎ 他分野のプラズマ研究者による最前線を知る
- ◎ 自らの研究の参考や理解や応用にそうした知見を取り込む
- ◎ 若手研究者、学生により広い世界を見せる
将来の就職先も！

プラズマ関連学協会連合組織 (仮称) 第1回運営委員会

- Reminderのご案内を差し上げます。お忙しいとは存じますがよろしくご参集下さい。
- 日時：8月24日（月）10:00-16:00場所：
- プラズマ・核融合学会事務局議題：
- 1) 自己紹介, 各学会の活動報告
- 2) プラズマ関連学協会連合組織案について
- 3) プラズマ科学シンポジウムについて
会議テーマ, 開催時期, 開催場所,
会 C 実行委員会, 諮問委員会等,
組織の立ち上げを検討
主管学会, 会議形式,
開催規模, 予算, 組織委員
開催に必要な主要事項及び組
- 4) プラズママップ作成について
- 5) 今後の予定 6) その他

まとめ

- ◎ 核融合学会、応用物理学会、物理学会の代表が集まり議論をした結果
- ◎ 1. プラズマ関連の連携会議 議長は、長崎大学・院・生産の藤山 寛 教授にお願いする。（彼は、プラズマ科学シンポジウムの代表幹事を2000年から続けて世話をしてくれました）
- ◎ 2. 本日出席したメンバーによるプラズマ関連の連携会議の「運営会議」を組織する。
- ◎ 3. 最初の「プラズマ科学シンポジウム」は、2011年秋の開催を目指す。
- ◎ 4. 最初の主担当学会は、プラズマ・核融合学会とする。
- ◎ 5. プラズマ科学シンポジウムは、既存のプラズマ学会とは、独立感を出し、参加者全員が共感をもてるようにする。

「プラズマ宇宙物理」合同セッション

領域2では、地球電磁気・地球惑星圏学会及び日本天文学会との協力に基づいて「プラズマ宇宙物理」合同セッションを、学際交流のため実施してきました。

1. 日本物理学会第60回年会(2005.3):口頭発表121件(東京理科大 千葉県野田市)
2. 地球惑星科学連合大会(2006.5):口頭発表93、ポスター発表92件(幕張メッセ)
3. 日本天文学会秋季年会(2007.9):口頭発表102件(岐阜大学)
4. 日本物理学会第64回年会(2009.3):口頭発表151件(立教大学)

次回「プラズマ宇宙物理」合同セッションの開催予定

2010年5月23日～28日(うち4日間)

日本地球惑星科学連合大会(幕張メッセ国際会議場)

投稿・参加登録期間 2010年1月5日～1月29日(予定)

申込方法、講演形態、各セッション情報などについては
領域2のWEBやメーリングリストなどを通して、後日ご案内致します。
皆様、次回「プラズマ宇宙物理」合同セッションに、是非ご参加下さい。